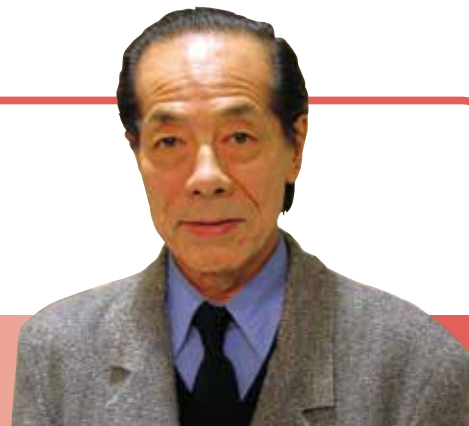


高階秀爾先生と楽しむ 【人生を豊かにする芸術】



講師

美術史家・美術評論家・大原美術館館長、
西洋美術振興財団理事長、東京大学名誉教授

高階秀爾 Shuji Takashina

絵画のモチーフとともに旅する、豊麗多彩な物語の世界

神話、聖書、文学、詩、戯曲、さまざまな物語から実にたくさんのお名画、名作が生まれました。画家は物語をどのように受け止め、イメージ化し、表現しようとしたのでしょうか。本講座では、物語を題材に描かれた作品を取り上げ、「モチーフ」を目印に、作品を比較しながら鑑賞していきます。物語

と絵画のつながり、画家の解釈や表現の違い、背景にある時代の価値観や文化現象、それら読み解きながら、豊かな芸術世界をご一緒にしましょう。

高階秀爾

10/7 水

第1回

18:30～21:00

災いを生む「卵」 『レダと白鳥』

誕生、創造、復活と再生の象徴である「卵」は、災いの根本をも生み落しました。古代ギリシャ神話の『レダと白鳥』は、なかでももっとも美しく、もっとも多くの画家に描かれた場面といえましょう。レオナルド・ダ・ヴィンチ、ラファエロ、モローなどの名作の数々と、その卵に始まる多彩な物語をたどります。

11/18 水

第4回

18:30～21:00

愛の墓場「壺」 キーツの詩『イザベラ』

キーツの詩『イザベラ』(ボッカチオ『デカメロン』にもとづく)が語る愛の物語を、E.ミレイ、ウィリアム・ホルマン・ハントなどラファエロ前派の画家たちは好んで描きました。主人公イザベルが抱える壺は、日常の道具であり、愛の墓場でもありました。画家たちが物語から絵画を描いた美しく悲しい壺の物語を見つめましょう。

10/14 水

第2回

18:30～21:00

奇跡をおこす「魚」 『外典トビト記』

『新約聖書』の『外典トビト記』に登場する、父想いの息子トビアスは、魚を提げて天使とともに旅から戻り、奇跡を起こします。魚はキリストのシンボルであり、奇跡や神秘のモチーフです。信仰、奇跡、家族愛、旅、魚、レンブラントやボッティチェリがこの物語に託したものの、描いたものは何だったのでしょうか。

11/25 水

第5回

18:30～21:00

「鏡」が映す運命、まやかし 『オデュッセイア』 『アーサー王伝説』

鏡が映しだす世界は、真実でもありまやかしでもあります。ときに運命を予告し、ときに真実を暴き、ときに偽りを見せて人を惑わします。キルケーと背後の鏡、シャロット姫と外界をつなぐ鏡など、ウォーターハウスはいくつもの美しい作品を残しています。物語と絵画、画家と絵画をつなぐ「鏡」を見つめます。

11/4 水

第3回

18:30～21:00

欲望と美の勝利「黄金」 『変身物語』『黄金物語』

純粋な愛、永遠の輝き、欲望の象徴、美の勝利・・・「黄金」はさまざまな象徴の意味を持つモチーフです。ティツィアーノの「ダナエと黄金の雨」、ルーベンスが黄金のりんごを描いた「パリスの審判」など、画家たちが描いた黄金をモチーフに、神話や伝説から黄金の物語をめぐるみましょう。

12/9 水

第6回

18:30～21:00

「夢」、お告げと幻想 中世の説話・聖人伝 カプリチオス『版画集』

夢は古来より物語にたびたび登場し、歴史上、宗教上、そして絵画において重要な役割を果たしてきました。聖書や中世伝説では神のお告げをもたらし、未知を予言しました。ロマン主義は夢を幻想ととらえ、「心の中の怪物」と呼びました。ジョット、ゴヤ、シャガール、ピカソと時代を追いながら夢の物語をめぐるみましょう。

高階秀爾先生に学ぶ美術講座

世界で評される名画から知られざる名作まで、高階先生が選ぶ作品を鑑賞し、高階先生ならではの切り口で学びます。「間違いなく自身の人生に新しい潤いを与えてくださいました。」「高階先生との出会いから、自身の世界が大きく広がりました。」など高いご評価をいただいた昨年に続いての開催です。はじめての方も昨年ご参加いただいた方もお楽しみいただけます。

開 催 概 要

日 程	2015年10/7、10/14、11/4、11/18、11/25、12/9(すべて水曜日)
回 数	6回
時 間	18:30～21:00(2.5時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円(消費税8%込)
お勧め したい方	・絵画はじめとする美術や芸術作品について理解を深めたい方 ・芸術の奥深さに触れ、魅力を堪能したい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

高階 秀爾(たかしな しゅうじ)

1932年生まれ、東京大学教養学部教養学科卒業、同大学院在学中フランス政府招聘給費留学生として渡仏、パリ大学付属美術研究所及びルーヴル学院で西洋近代美術史を専攻。東京大学文学部助教授、同教授、国立西洋美術館長等を経て現職。2000年紫綬褒章、01年フランス、レジオン・ドヌール シュヴァリエ勲章、02年日本芸術院賞・恩賜賞、05年文化功労者、12年文化勲章。数多くの著書を著し、特に1969年刊行の『名画を見る眼』は、45年の間名著として読み継がれ、啓蒙的役割を果たしてきた。ルネッサンス以後の西洋美術を専門としながら日本近代美術にも造詣が深く著書多数。

●主な著書

『名画を見る眼』『続 名画を見る眼』(岩波新書)、『ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」はなぜ傑作か? : 聖書の物語と美術』『誰も知らない「名画の見方」』『ミロのヴィーナスはなぜ傑作か?』(小学館101ビジュアル新書)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

参加者

講座名	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む
会社・団体名	
所属	
フリガナ	
氏名	
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒
TEL	-
FAX	-
e-mail	

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(「夕学五十講」を除く。)
◆20%割引:108,000円(税込)以上の、「agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

「agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきたく存じます。
ご不要の方は右記にチェックをお願いします。